

わざわざありがとうございます！

結構長いけど勘弁して下さいね！

鷹の目 プロフィール

【幼少期編～中学編】

こちらのページまでご覧頂き感謝いたします。

私のプロフィールを徒然なるままに書き連ねさせていただきます。
かなり長いので、飽きたらサクッとトップページに戻って下さいね。

【幼少期編～中学後編】【高校編～大学編】【社会人編～現在へ】の3部構成でお送りいたします。

それでは、暫くの間お付き合い下さい。

■ 基本情報

197×年生まれの 30 代もうすぐ後半。そろそろ中堅どころと呼ばれる現役のサラリーマンです。

妻一人、娘一人の 3 人家族。もうすぐ 4 人家族になる予定。

趣味はゴルフ。80 台前半をウロチョロしています。70 台が出たら暫くゴルフは休む予定です。ですが未だ予定は未定です。

ある事がキッカケで、お金の大切さ・現状の資金管理の危うささに気付き投資に目覚める。それからは時間的自由人を目指し、セミリタイア・アーリーリタイアを想定して昼はサラリーマンをしながら（夜も結構多いですが・・・）、残りの時間を投資や情報発信に充てています。

二足のわらじは正直しんどい事もありますが、この時期を乗り越えないと何も始まらない事は分かっていますので愚直に且つ楽しみながら実践を行っています。

さ、前置きはこの辺にしまして早速ですが幼少期～中学編に入ります。

■幼少期～小学校時代

物心ついた頃から父親不在の母子家庭。4歳の時に両親が離婚をしたため、小学校にあがる頃には既に鍵っ子でした。

また、当時家では犬を5匹飼っていて、当然その世話は私がやることになっていたのだから友達と平日遊んだ記憶は殆どありません。

年子の弟と帰宅後は犬の世話、洗濯物入れ、風呂掃除等をやっていたので仕方なかったです。また、当時は土曜も昼まで学校があったので、昼飯を毎週作っては弟と食べていました。

土曜日はさすがに遊んでいた記憶はありますが、家の手伝いのため5時前には帰宅していました。

うちの母親は誰もが認める武闘派だったため、家の手伝いを忘れたらぶっ飛ばされてましたので（笑）。

冗談じゃなく、護身用の木刀で何度も頭を叩かれました。

一歩間違えたら天国を見ていたかもしれません。

まあ、後々聞いたら中学にあがるまでは体で覚えてもらう教育方針だったようです。確かに、中学にあがったらびたりと止みました。

そんな家庭環境でしたので小学校では所謂ガキ大将でした。体も小さくなく、運動神経は良かった方なのでやんちゃをしてました。

ただ、息子2人のために身を粉にして働いている母親の姿を見ていましたので、小さいながらも

「母親には迷惑をかけてはいかん」

と感じていました。

なので、不良全盛期の時代でしたがその道には進みませんでした。

「学校、行きたくないわ」

小学校時代はホント、な～んも考えてなかったです。

たまに寝る前に、寝床の中で地球の中での自分の存在やら、宇宙の果ては何処にあるのかやら、結果怖くなって泣いてしまったりやら。

変わった事はそれくらいで、後は田舎の良さを満喫していたのでしょう。

夏休みの約40日間、弟と一緒に一日も休まずプールに通い続けたりしてましたから。

6年生までは、塾なんぞ皆無でした。

母子家庭で少々不便な事はあったかもしれませんが、私は殆ど他と違っているなと感じた事もなく（なので母親には今でもスゴイなと思っています。子供に感じさせないのは並大抵ではなかったはずなので）、年子の弟がいましたので遊びに行けないながらも兄弟で時間を過ごしていました。

そんな中、一つ目の転機がやってきます。

私自身、激しい性格をしていたのは確かで、6年生の時「いじめ」を経験しました。

当時、ドッジボールがはやっていて給食後の昼休みには運動場の場所取りのため各クラスの早飯食いの奴らが一目散に出て行きます。

私も、食べるのが早かったので場所取りを率先して行っていました。

ある日、いつものように給食を済ませ一番で運動場に飛び出しました。足で線を引き、ドッジボールの準備を行っていたのです。いつもなら5～10分したらクラスの仲のいい連中が出てくるのですが一向に出てきません。

「？」と思いながらも、準備を完了して待っていました。

昼休み終了の時間が迫ってきました。

さすがにおかしいと思い、クラスを覗くと教室で遊んでいる姿が目に入りました。正直、この頃の事はハッキリとは覚えていないのですが、その日を境に今まで仲の良かった連中の態度が一変しました。

給食後も休み時間も下校も。少し私も鈍かったので、ボールを持って連中のところに駆け寄り「ドッジしようや～！」と自分から駆け寄った事もあります。

そしたら走って逃げるわけですよ。

「何かの遊びか？」と私も追いかけていたのですが、何回も続くとさすがに気付きます。

小学生のこの手の「いじめ」はきついですよお。

体育の時間やら、図工の時間やら、とにかくグループ分けを学校はさせたがります。そのたびに私は一人残されるわけです。

強制的にどこかのグループに入らされる訳ですが、基本静かなグループとか大人しいグループに入れさせられてました。

元々の大人しいグループの連中には迷惑な話ですよ。元々、私は五月蠅いほうだったので（当時ですよ）静かに過ごしたい上記の同級生ははた迷惑だったと思います。

そんなこんなで数ヶ月この状態が続きました。

この頃、一度だけ武闘派の母に相談した事があります。

「学校に行きたくない」と。

一蹴されましたけどね（笑）

私なら、子供が学校に行きたくないと言えば行きたくなるまで行かなければいいと言いますが、まあ価値観の違いでしょう。

正直、そこからは荒れました。母親は恐怖の対象でしたので、学校で（笑）。

喧嘩、喧嘩の毎日でした。

一番仲の良かった首謀者は逃げまくっていたので、周りの連中と、とことんまで喧嘩しました。一人は金〇を蹴り上げてしまい、入院させてしまいました。

傷害罪成立です。

一人は本気で殴ってしまい、顔の形が変わってしまいました。

代わりに先生からボコボコにされました。

勿論、反省しています。

ただ、当時は問題解決策が分からなかったんだと思います。

肯定するつもりはありませんが、私はある意味ラッキーでした。

通常、いじめの対象は大人しい子、人と変わってる子が対象となります。

自分がいじめられているという悲鳴を上げることも出来ません。

ただただ、耐え忍ぶだけです。

私は体も大きく、力も強かったので暴力という最低の手段で悲鳴を上げていました。

だから、周りが気付くのも早かったのかもしれない。

(先の私をボコボコにした先生は、これが契機で気付いたと言っていました)

でも、この状況は卒業式まで変わりませんでした。

今でも、卒業アルバムを見ると私の右手には包帯が巻かれています。

人を殴って自分の手の甲が折れてしまった跡です。

いじめはされる方にも問題がある。そういう議論を聞いた事があります。

自分を正当化するわけでは無いのですが、絶対にされる方を責めちゃだめです。

私の場合は、「たまたま」反撃できただけです。
普通は出来ません。又、してはいけません。特に暴力は。

いじめの劣悪さは身をもって経験しています。

今でも、正直トラウマですよ。

裏切られる、疎外される。

そんな思いを経験しているから。

やっぱり、そんな思いはしたいはずはないから。

だったら、はじめから他人と接点を持たなければいい。

後述しますが、こう考えてしまう時期もありました。
それは、もしかしたら今でも払拭しきれていないかもしれません。

周りから言われた事はありませんが、人付き合いが億劫になる事がたまにあるので。

とにもかくにも、この経験は私の人生で1つ目の大きなターニングポイントとなりました。

だから、私は今でも陰口を叩くのが大嫌いです。
叩く人間は嫌悪感すら覚えます。

私も後輩や同僚に厳しい事は言います。

でも、いじめ的な事は一切しません。面と向かって話をします。

人は意外といじめ的な事をやっています。

あなたも陰湿だなど思う、陰口を聞いた事ありませんか？

これは私が経験したいじめと大差ないんです。本質は。

同じことを人には絶対にしない。本当に大きなターニングポイントでした。

■ 中学時代

地元の中学に入り、状況は一変します。

私は中学から剣道をはじめて、どっぷり浸かってしまいました。

部活でがっつり稽古をすると、正直家では寝るだけです。宿題、勉強する体力なんぞ存在していません。

今まで本当に勉強していなかったため中学校に上がる前に入った塾の先生・仲間に触発され、負けまいと思い勉強も一生懸命取り組みました。

当時、塾で隣に座っていたU君がやたら頭がいいんです。

小学校のレベルでも、勉強してなかった私にもレベルの違いが分かります。

授業の合間に、新聞の切り込みを読んでノートに書き込んだりしています。

「何をしてるんだろう？」と覗いてみたら、その休み時間 10 分を使って社説を 150 字位に要約してるんです！

しかも、毎日！！

たまげました～。

「何だこいつは？」と思いました。失礼ながら。

自分とは違う校区だったので、日常は知りませんが只者ではないと感じていました。

で、中学入学。

あのU君もいました。

クラスは違いますが、調整区域で同じ中学になってました。
小学校から中学にあがっても、近くの席にいたので算数の時間も競争してました。

私が勝手に、ですが。

正答率なんて、そんなに重要ではないのです。

今まで見たこともない人種、U君のライフスタイルに感化されて少しでも勝ちたいと思っていたのです。

入学後の定期テスト。案の定というか、U君は学年で1番でした。
やっぱりな。只者じゃないな。こやつは。
そう感じていました。

で、私は。

5位でした。
クラスでというオチはありません。学年で5位でした。

今まで、クラスで中の下くらいだった私が偶然にもU君との出会いで勉強のキッカケを掴み、いつの間にか実力をつけていたんです。

人との出会いは分からないなあ、と感じています。

そのU君。
ストレートで東大に合格して、今では若くして東大の准教授だそうです。

やっぱ、只者ではなかったな。

それから中学の3年間、部活と勉強を精一杯取り組みました。

小学校の経験から、人との付き合い方もある程度は考えていたので自然と仲間もできました。

ちなみに、小学校の首謀者は中学校で本質がバレ、先の話ですが高校時代には総スカンを喰らい、元来の酒癖の悪さから成人後には地元の連中と会話すら出来ない状況だそうです。

元々彼も激しい性格でしたので、仕方ないんでしょうね。酔っ払って、知り合いの店に火をつけてぼや騒ぎを起こした事もあるそうなので。いつか会う事があったら、昔の事を話したいと思っていますが、その機会はないでしょう。

脱線しました。

そんな感じで、一番楽しかった中学時代でもありますが、第二のターニングポイントを迎えた時期でもありました。

オレは一生彼女できないな

中学3年の秋。そろそろ進路を確定しないとイケない時期。
部活も引退し、受験勉強に勤しむ毎日を送っていました。

そんな塾での帰り道。いつも通り、当時の剣道の部員と塾も一緒だったのでコンビニで夜食を買って帰宅していました。

そのコンビニでヤンキーがいたので、「絡まれるとめんどくせえなあ」と思いながらも二人で帰宅。で、案の定先ほどのヤンキーが絡んできました。

絡まれた相手は一緒にいた連れ。ヤンキーは 3 人組み。

話を聞くと、コンビニのレジで連れがメンチを切ったらしい、という因縁。

入試前だし、面倒な事になったなあと思いつつ、次第に空気がピリピリしてきたので「これはマズイ」と。

小学校の経験から 2 度と暴力は振るわないと心に決めていたので、後ろに手を組み、仲裁に入る事にしました。←(今ならタイミングを見て、連れと一緒に走り去りますが)

一瞬でした。

仲裁に入った瞬間に、後ろにいたヤンキーの一人が角材を持っていたらしく私の目の上を直撃。ぱっくり割れてしまいました。

その後の詳細は記述を控えますが（あまりにグロいので）、私は前歯 2 本が完全に折れてしまい、鼻の骨を折る怪我を負いました。

顔面血まみれの状況で帰宅。即、警察。簡単な事情聴取の後、救急病院へ。順番が逆だと思いますが、母親も気が動転していたのでしょう。自分の子供が顔面血まみれで帰ってきたら誰だってそうなります。

もうこの辺りは記憶が曖昧なのです。正直なところ。

入院すべきと医者に勧められましたが入試が迫っていたので自宅療養にしたらしいです。今なら、ちゃんとした医療施設に入院した方がいいに決まっていますが何故そのような判断をしたのかいまだにあやふやです。

その後、ヤンキー3人組みの所在も分かり、刑事告訴となりました。

当然、未成年なので慰謝料を請求するのみで扱いは民事のみになったと思います。その辺は母親が調整してくれていたもので、未だによく分かっていません。ただ、今でも申し訳なく思っています。

この頃の顔はひどいものでした。顔が2倍位にはれあがり、頬と鼻の境目が分からないんです。

それで、前歯がない。

どこかの格闘家は戦いに前歯は邪魔だと言って抜いたらしいですが、私は格闘家になる予定もありません。

当時15歳。青春真っ只中。

「ああ、オレー生童貞だわ。」

鏡を見ながら、そう思ったのをハッキリと覚えています。

まさか、この年で入れ歯になるとは思ってもみませんでしたから。

この入れ歯生活は高校3年間続く事になります。

そして数週間後、学校に出て行くと中学時代の仲間が私に話しかけてきました。

同級「おい、お前やったの〇〇中学の奴らやろ？」

私「らしいぞ」

同級「やっぱそうか！今から行くぞ、そいつらのとこに」

私「やめとけて。お前らも進路があるやろ？もういいって」

な～んで、こんな綺麗な会話ではなかったですが血気盛んな連れをなだめた私の構図は間違いありません。

しかも面白い事に、乗り込むぞ！と言った連れは、小学校時代、私をいじめていた一員でもあります（首謀者ではないです）。中学で和解したのですが。この連れは今では飲食店をやっていて、ちよくちよく店にランチを食べに行く間柄です。

ん～、改めて振り返ると少しだけアツイ思春期を送ってますねえ（笑）。

まあ、そんなこんなで色々とありましたが、一応 第一志望の高校にも合格しました。

しかし、高校では更に波乱の展開が！（笑）

次は高校～大学篇です！（準備中）